

プロフィール

1979年8月17日 区内の個人商店の家に生まれる
 青葉学園幼稚園(世田谷区世田谷)卒
 世田谷区立駒沢小学校卒/世田谷区立駒沢中学校卒
 國學院高校卒/慶應義塾大学経済学部卒
 三井住友銀行元行員/衆議院議員(現在2期目)
 立憲民主党 政調副会長・経済政策調査会事務局長
 家族：妻、息子2人(6歳、4歳)

- 国会議員活動評価 最高位「三ツ星」獲得。
- 黒塗りの車には乗らない。
- 政界の癒着を排し企業団体献金は受け取らない。
- 東京6区(旧東京3区)で戦後初の世田谷区立小・中学校出身の国会議員。

東京六区エリア



(世田谷区の一部)

「落合貴之はみなさまの個人献金で活動しています」

落合貴之は、特定の利権を代弁するのではなく、真の国民の代表を目指し、企業団体献金を受け取らず、地元のみなさまのボランティアとカンパ(個人献金)に支えられ活動を続けてまいりました。私の活動をボランティアで支えてくださる方、個人献金で支えてくださる方、是非、事務所までご連絡をお待ちしております。

中間所得層を分厚くする経済政策、 みんなのための経済政策を

● 地域分散型経済の確立

海外や外国人観光客に買ってもらうことに傾斜しすぎた経済から、そこに住む人達の経済活動で各地域を豊かにする経済へ。医療・福祉、農業、建築、自然エネルギーなどで、地域のお金を地域で循環させる。

● 「ベーシックサービス」の拡充

どの家庭に生まれても、その子の意欲に応じた教育を受けられる社会に。子育て、医療、介護、住宅など、生きていく上で最低限必要なサービスは「公」が責任を持ち、誰もが受けられるように。

● 減税・給付の実施

世界的に格差が顕著な問題となる中で、低所得者ほど負担が多い消費税は減税を検討。コロナ禍で困窮している方には現金を給付。中間所得層には、所得税の減免も選択肢。

中長期的には、負担できる人、負担すべき人が、少しずつ負担をする仕組みを構築。

● 賃金を上げる制度改革

今や働く人の4割が非正規雇用。中小企業を支援しながら最低賃金を上げていく。望まない非正規雇用も減らしていく。

巨大企業と立場の弱い中小規模事業者の取引関係もしっかり監視。他、低賃金化を促進させている諸制度の見直し。

● 「公益資本主義」的考え方の導入

企業は株主のためのみに存在するのではない。働く人、お客さん、地域社会などのためにも企業が貢献する仕組みを築く。

● 成長産業への投資を国がけん引

デジタル、グリーン(環境)、ヘルスケア(健康)など、世に必要で、世界でも成長が見込まれている分野には、国が方向性をしっかり示して投資を後押しし、新しい産業を創出。

政権の周りの一部の人達のための経済政策ではなく、広く国民全体のため、公益のための経済政策を。落合貴之は、新しい、あるべき経済政策を提唱し、実現のために尽力してまいります。

立憲民主
 RIKKEN
 MINSHU
 号外
 2021年9月1日

立憲民主
 The Constitutional Democratic Press

衆議院議員 落合貴之 事務所
 contact@ochiitakayuki.com
 ● 世田谷区世田谷 1-12-14 原ビル 2F
 ● TEL: 03-6312-4505

衆議院議員

おちあいたかゆき

落合貴之の 10分で分かる 日本経済



尾崎行雄記念財団ブックオブザイヤー
 2020 国政部門大賞受賞!

岐路を迎えた世界と日本。我々はどこに進むべきなのか。
 落合貴之著『民政立国論』(白順社)
 お近くの書店、Amazon、楽天ブックスなどにて
 好評発売中

落合貴之
 一人ひとりが
 自決し、積み、
 切り拓く新世界
 実現します!
 民政立国論
 白順社